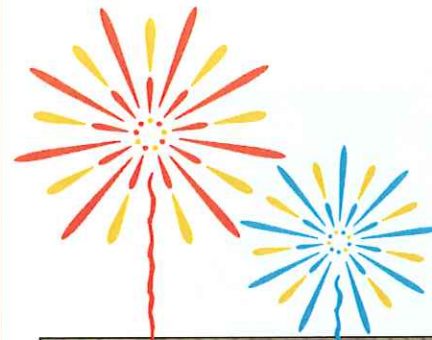


# みなかみの里

令和4年7月号  
No. 112



表紙

## ～感染症予防から、新しい学びの形態へ～

コロナ禍により、これまで対面で行っていた研修や会議がオンラインに代わることも珍しくなくなっています。法人内でもZoomの使い方研修があり、みなかみの里に勤務するリーダー職員も参加しました。対面やオンラインのそれぞれの良さを活用できるとよいですね。

P2・P3

## 令和3年度 みなかみの里 事業報告

P4

## 地域の皆様ご紹介コーナー 他

## 基本理念 心温かな介護を通じ、生きる喜びと感動あふれる地域づくりを目指します！

- 1、人と地域を愛します
- 2、確かな介護を提供します
- 3、開かれた施設を目指します



社会福祉法人 新井頸南福祉会

特別養護老人ホーム みなかみの里  
新潟県妙高市大字上新保549番地  
TEL:0255-73-7733 FAX:0255-72-9785

みなかみの里デイサービスセンター  
新潟県妙高市大字上新保549番地

URL:<http://www.araikeinanfukushikai.or.jp>

ケアハートみなかみ(ショートステイ)  
新潟県妙高市大字上新保554番地-1

みなかみの里在宅介護支援センター  
新潟県妙高市大字上新保554番地-1



みなかみの里

令和4年7月号 No. 112

社会福祉法人 新井頸南福祉会  
特別養護老人ホーム みなかみの里

T:944-0025 新潟県妙高市大字上新保549番地  
TEL:0255-73-7733 FAX:0255-72-9785  
URL:<http://www.araikeinanfukushikai.or.jp>

## 地域の皆様

### ご紹介コーナー

前回に引き続き、みなかみの里を支えてくださっている地域の皆様をご紹介します。今回は第三者委員のお二人よりお話を伺いたいと思います。



◆みなかみの里の第三者委員としての活動期間はどのくらいですか？また、どのような経緯で委員をお引き受けになったのですか？

◆清水さん「以前にみなかみの里の評議員をしていた縁で前の理事長より声をかけていただきました。評議員からの期間を合わせると8年近くのお付き合いになります」

◆山田さん「私は川上地区と上新保地区の民生委員をしている縁で引受けさせていただきました。第三者委員になってからは2年目になりました。民生委員の仕事では担当地域の身近な相談相手として、住む方の見守りや、必要に応じて関係機関の橋渡しをしています」

◆続きまして、みなかみの里の事業運営についてどう思いますか？



清水登貴子さん

◆清水さん「現在は苦情解決委員会での2回来園しています。委員会の中で報告を聞く、職員の方が真剣に利用者の皆さんに向き合っていることがよくわかります。本当に有難いことだと思います。また、事故防止や身体拘束防止などの取り組みも意欲的にされていますね」

### 第三者委員とは？

国の指針において「苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置する」とされています。  
「利用者が直接職員には言いにくいことや、「事業者の問題だけで終わらせない」ことなど申し出者の気持ちや立場に配慮し、事業者の視点だけでなく第三者の客観的な意見を積極的に取り入れることが期待されています」



山田サヨ子さん

◆山田さん「着任する前は、みなかみの里には暗いイメージを持っていました。ですが、実際に建物の中に入り、事業の話や職員の方の熱心な様子を見聞きすることで、そのイメージは完全に払拭され、みんなの職員も一生懸命でびっくりしました」

◆清水さん「事故の報告の中でも、原因究明や同様の事故を起こさない対応策の検討など本当によくやっていると、委員として第三者の視点で見てもっともしっかり取り組まれています」

◆山田さん「委員会の中では、事故防止や身体拘束防止の取組の報告を受けます。今回は研修体制の報告もありました。職員の皆さん業務で忙しい中、ご自身のスキルアップが図られていますね」



お二人とも  
ありがとうございました。  
今後ともよろしく  
お願いいたします！



### 寄付金品

(令和四年四月～令和四年六月)  
匿名様(ポータブルトイレ)  
匿名様(紙オムツ)



### ボランティア活動

(令和四年四月～令和四年六月)  
今期は感染症予防の観点からボランティア活動受け入れはありませんでした。今後順次ご案内いたします。

### 裁縫ボランティア募集

特養のご利用者が使用する枕カバーを縫ってくださるボランティアさんを募集しています。材料はこちらでご用意いたします。裁縫が得意な方、お好きな方で興味のある方はお問い合わせください。担当：高木・早津

### 苦情報告

(令和四年四月～令和四年六月)  
苦情受付0件  
各事業所に苦情相談担当がおります。遠慮なくご意見をお寄せください。今後ともサービスの向上に努めてまいります。





## 特別養護老人ホーム

### ①入所者の重度化防止のためのケアの質の向上

誤嚥性肺炎の予防のため、新たな取組みを実施するなど、口腔機能の向上に努めました。その結果、誤嚥性肺炎となる方も減り、結果的に入院された方も前年と比較して、19名減少させることができました。



### ②質の高い認知症ケアの提供

認知症介護実践者研修を1名の職員が受講し、それをもとに内部研修会を実施しました。また、外部講師を招いての認知症ケアの取組みに関する勉強会も行うなど、認知症ケアに関する取組みを積極的に行いました。



服薬支援システム  
薬とご利用者、職員をQRコードを照合することで、飲ませ間違いを予防します。

### ③介護ロボットによる入所者の重度化対応と生活の質の向上

新たに服薬支援システムを導入しました。今までは薬の「飲ませ間違い」や「飲ませ忘れ」などの事故を防ぐことがなかなか難しかったのですが、システムを導入することで、機械がエラーを見つけられるようになりました。まだまだ、使いこなすには時間がかかりますが、今後も人間とロボットの共同を進めていくことで、利用者にも職員にもよりよい施設を目指していきます。

## 令和3年度 みなかみの里 事業報告

## ショートステイ

### ①効果的な機能訓練の実施

みなかみの里デイ・サービスやえんじゅの郷デイサービスのご利用者で、ショートステイで個別機能訓練ご希望の皆様につきましては、機能訓練等に関する情報を共有しました。連続性があり、効果的な機能訓練が提供できました。



移乗方法に関する研修等を定期的に実施しました。

### ②安心・安全なケアの提供

前年に引き続き、認知症ケア検討チームと移乗方法検討チームでケア向上に関する検討や研修等を実施しました。両チーム共に、前年からの積み重ねもあり、より充実した活動を行うことができ、安心・安全なケアの提供を行うことができました。



安心・安全で楽しくご利用いただけるメニューを提供させていただきました。

### ③記録システム導入における情報の共有と業務効率化

検討と検証を重ね、記録システム導入を行いました。記録システム導入において、業務効率化やペーパーレス化につながりました。また、法人内の事

業所との情報共有が迅速に行うことが可能となり、機能訓練を含めて連続性のあるケアの提供につなげることができました。

## デイサービス

### ①ニーズに沿ったサービス改善やプログラムの充実

全てのご利用者にアンケート調査を行い、ご意見に基づいてサービス改善に努めました。また、感染症対策に努めながら、外出ドライブやおやつ作り等の活動を再開し、充実感や達成感を味わっていただけるよう支援しました。



おやつ作り  
きんつばを作って食べました。

### ②機能訓練を中心とした多職種協働によるトータルサービスの実施

機能訓練希望者の対応について、生活機能チェックシートや口腔・栄養スクリーニングの結果を基に、機能訓練指導員、管理栄養士と共に、筋力や持久力の向上、低栄養の予防など一体的に検討しました。また、短期入所課と連携して、より継続的で効果的に機能訓練を進めました。



機能訓練  
ご自宅の高床式階段を想定し、階段昇降訓練を行いました。

### ③記録システムの導入による情報の共有化と業務の効率化

令和3年4月より記録システムの運用を開始しました。タブレット入力と記録システムとの連動により、記録の一元化ができ、記録業務が効率化されました。また、記録のデータ管理をPC内でおこなうため、ペーパーの削減となりました。

## 居宅介護

### ①フレイル（虚弱状態）予防に向けたケアマネジメントの実践

訪問時やアセスメントの際、フレイルの視点（足腰の筋力低下や口腔衛生、社会参加など）で聞き取りを行い、その予防に取り組むことができるようプランに反映しました。



事業所内でもZoomの使い方を学びました。

### ②医療機関や介護サービス事業所、

#### 地域の方とのネットワークの活用

コロナ禍で各機関と参集しての連携が難しい中、Zoomをはじめとしたツールを用い、情報共有など連携が途切れないようにしました。また、地域の民生委員とも顔の見える関係作りに努めました。

### ③身近な相談窓口として・・・質の高いケアマネジメントの提供

「地域包括ケア」における多職種連携の旗振り役として、職員各自の資質向上を目指し、主体的に研修に臨みスキルアップを図ることができました。



在宅介護に関するご相談はおまかせください！